



日本人の美学

～ だいじょうぶの花 ミニフォーラム ～

水澤心吾 一人芝居

決断 命のビザ

すぎはら ちうね

～“SEMPO” 杉原千畝物語～

原作「決断・命のビザ」渡辺勝正著

監修・渡辺勝正／脚本・杉本美鈴

舞台総監督・宗田良一



今、日本人としての美学が問われています。
故 杉原千畝氏の生き方、ゲストのお話から
日本人としての自覚をみつめ直す機会になれば幸いです。

【対談ゲスト】 行徳哲男 氏 (日本BE研究所)
芳村思風 氏 (思風庵哲学研究所所長、名城大学講師)

“日本のシンドララー 杉原千畝”

杉原千畝は、第二次世界大戦中、日本の通貨ビザを外務省の命令に反して発給することで、当時ドイツ・ヒトラーにより迫害されていたユダヤ人約6,000人を救った日本の外交官。海外では、センボ・スギハラ、「東洋のシンドララー」として知られる。「センボ」とは「千畝」の音読みだが、ユダヤ人が「ちうね」と発音しにくいらうと、千畝自身が考え、「センボ」と呼ばせたという。

杉原千畝 (すぎはら ちうね)

SUGIHARA "Sempo" Chlune
1900年1月1日生まれ、岐阜県加茂郡八百津町出身の日本の官僚、外交官。1986年7月31日没。



2009年11月14日(土) 開演/14時、18時(2回公演)

会場 キンケロ・シアター 東京都目黒区青葉台1-15-11

会費 4,500円(当日5,000円)

主催 Kei・Kenプランニング

共催 社団法人日本だいじょうぶ普及協会

後援 株式会社ゴールドクロス / 株式会社アイウィルビー

